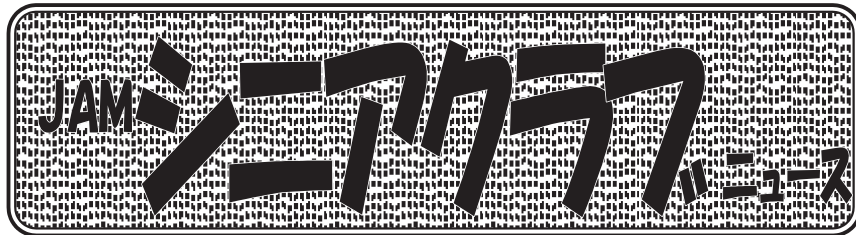


地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を



第127号

発行日 2018年3月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-5440-7388 fax03-5440-7389

主張



党委員長が妹の  
金与正党第一副  
部長を送り込ん  
で文在寅大統領  
の早期訪朝を要

の時間稼ぎだ。あるいは北の攪乱戦法  
で日米韓の間に楔を打ち込むのが目的  
だと懸念する声が多い。今までの北の  
言動からして当然の声である。しかし、  
私は北の思惑は別にして南北融和に一  
とを期待したい

平昌冬季オリンピック開幕前にシニア機関紙「主張」の原稿依頼を頂いた。毎回、諸先輩の洞察力溢れる主張を楽しく読ませていただいているが、自分の番となると甚だ心もとない。オリンピックが近づくとつられて北朝鮮の参加が取り沙汰され、ついに統一旗を掲げての入場行進になった。多くの人が、いずれ北朝鮮が首脳会談を申し入れるのではないかと予想したと思う。それが現実味を帯びてきたのは、金正恩朝鮮労働

香川シニア代表幹事 水野 惇

平和の祭典オリンピック  
納札の願意に南北統一を

縷の望みがあるなら、首脳会談は無条件で実現させるべきだと考える。なぜなら南北の融和なくして日本の平和は成り立たないからだ。北の核保有を「国難」と声高に唱えて衆議院選挙に大勝した安倍首相にとつて思わぬ展開だろうが、ここは静観していて欲しい。1940年から始まった日本への経済制裁がどういう結果をもたらしたかを私たちは冷静に考えるべきだろう。8回目の四国八十八ヶ所巡拝中だ



政策制度要求実現2.15院内集会  
安倍政権に怒りの声  
国会山場に要請行動を予定

2月15日、退職者連合は開催中の「第169通常国会」に合わせ、永田町の参議院議員会館内で「政策制度要求実現2・15院内集会」を開催。政府や政党への要請行動や国会の山場における傍聴行動、集会、街宣行動などの取り組み方針を確認した。集会に参加した全国の仲間300人が国会に向けて社会保障制度を先細りにする安倍政権に対し怒りの声をあげた。

会場は定刻前から参加者で埋め尽くされ、JAMシニアクラブからは大山会長はじめ本部・東京・千葉・埼玉・神奈川から11人が参加した。主催代表挨拶で退職者連合の人見一夫会長

は、今年の予算案でも1300億円の社会保障費削減を進める安倍政権に対して、「高齢者にとって年金、医療、介護制度は重要な。持続可能な社会保障制度の確立に取り組み国民の生活を守る政治をも

とめていく」ことを強調。また憲法改正問題の動きに対しては、国民の議論なしに進められていくとし、平和の重要性を訴え「中央、地方で元気に闘っていきましよう」と力強く行動する退職者連合の仲間

仲間に呼びかけた。また来賓として、連合川島総合政策局長、立憲民主党枝野代表、民進党大塚代表、希望の党階幹事長代理、社民党福島副党首から連帯と激励の挨拶がされた。そのうえで、菅井義夫事務局長は退職者連合の政策制度要求実現に向けて、2月21日から28日までの間に、政府や政党（民進党・立憲民主党・社民党・希望の党）への要請行動を実施すること、国会の山場における国会傍聴行動など集会や街頭宣伝行動の取り組み方針を提起した。また、今国会の焦点となつて

## 京都 介護に関する研修会を開催 介護保険を上手に利用

伊藤 忠男通信員

京都シニアクラブは JAMシニアクラブの活動方針を受け、1月19日(金)午後2時「介護保険の上手な利用とその相談窓口」と題した2時間の研修会を実施した。講師は、



京都市御池地域包括支援センターセンター長 秋山博之さん。高齢化社会に伴って認知症患者数が増加の一途にあること、孤独死や徘徊、虐待、詐欺被害など、高齢者の暮らしを取り巻く状況を自らの仕事と関わった経験を踏まえわかりや

すく解説していただくところからスタートした。メインは京都市が発行した「健やか進行中」という高齢者のためのサービスガイドブックを使った「介護保険サービスを利用するまでの流れ」、ここでは「高齢サポート(地域包括支援センター)への気軽な相談の大切さ。また、新しく始まった、支援を要する高齢者が住み馴れた地

域でそのまま暮らし続けられるように地域でサポートしていくことを目的とした「介護予防・日常生活支援総合事業」の解説。介護保険で利用できるサービスや事業所の種類まで丁寧な解説をいただいた。お話を聞いた後の質問で「ご近所に服装が乱れ、お風呂にも長く入っていないと思われ高齢者がいるが同居の家族には言いにく

い。こんな場合どうすれば?」「こんな場合も地域包括サービスセンターに相談すればご近所からの通報とはわからないよう、ご自宅を訪ねて様子を見て行く。まず相談を」と教えていただいた。参加者は、自分の親や配偶者の介護の当事者からまだまだ先の話

と思っている元気な会員まで幅広く50人弱が集まった。これから避けて通れない現実に向き合った時の心構えができたのではないかと

## 東京 活動の充実と 田中ひさやへの支援を要請

小川 秀樹通信員

東京シニアクラブは1月18日(木)、渋

谷JAM金属労働会館に会員42人、来賓他9人、総勢51人の皆さんが集まり、新年の顔合

冒頭、長岡会長から会員交流・街歩きや講演会など今年の活動の一部に触れ、さらに来年7月予定の参議院選挙には田中ひさや候補

者への絶大な支援を要請し、今年の交流活動への参加とともにご協力をお願いする旨の代表挨拶がなされ

た。その後、JAM東京千葉・橋本書記長、シニア本部・大野事務局長、千葉シニア・畑山会長、田の上東京都議、津田智紀前大田区議、森西多摩地協事務

局長、ご来賓の皆様のご挨拶や田中ひさや本人から確固たる決意表明を受けた。

## 田中ひさや JAM参議院比例区 組織内候補予定者



働くみんなのちからになりたい  
ものづくりの代弁者を国会へ

JAMは2019年参議院比例区に組織内予定候補として「田中ひさや」副会長を擁立することを決定した。これを受けてJAMシニアクラブは第9回定期総会で「田中ひさや」副会長の推薦を決定した。議席獲得に向けてシニアクラブのみなさんの支援をお願いします。



冒頭、長岡会長から会員交流・街歩きや講演会など今年の活動の一部に触れ、さらに来年7月予定の参議院選挙には田中ひさや候補者への絶大な支援を要請し、今年の交流活動への参加とともにご協力をお願いする旨の代表挨拶がなされた。その後、JAM東京千葉・橋本書記長、シニア本部・大野事務局長、千葉シニア・畑山会長、田の上東京都議、津田智紀前大田区議、森西多摩地協事務

局長、ご来賓の皆様のご挨拶や田中ひさや本人から確固たる決意表明を受けた。懇親会に入り、あらこちらのテーブルでは常備薬自慢や健康自慢など久しぶりの会話が弾んでいた。宴中盤になり恒例のビンゴ大会が始まり、ビンゴ完成百円カンパ引き換えのスクラッチくじや各種の景品(外れ無し)、特に今年の目玉景品の「健康関連商品(血圧計やヘルスメーター等)争奪で大いに盛り上がり

た。集まったカンパ金4870円を東京千葉福祉カンパに寄付した。

熊野町は日本の筆の80%を生産、その「筆の里工房」では筆の歴史や世界一の大筆などの展示、筆の製作工程を見学し、帰路について、バスツアーについて、シニアクラブの会員から知人への案内や、共済ユニオンから共済加入者への案内を行い、今年も6人の新加入があった。単組の退職者組織が少ない山陰では、このように行事を機会に会員増加を図っている。

## 山陰 会員交流バスツアーを実施 行事を機会に会員拡大へ

遠藤 渡通信員

山陰シニアクラブは、会員の交流行事として4年前から日帰りバスツアーを行っている。

今年5月21日(日)に広島県呉市の「大和ミュージアム」と「てつものくじら館」、安芸郡熊野町の「筆の里工房」を巡るバスツアー



を行った。

松江駅前参加者が揃い、内田会長の挨拶があり、バスは片道3時間余りの旅に向かった。車中では1年ぶりの再会を喜び、また6人の新加入会員ともアールコールも入るにつれ交流を深めた。呉に着し、昼食の後、戦艦

と云っている元気な会員まで幅広く50人弱が集まった。これから避けて通れない現実に向き合った時の心構えができたのではないかと